

mitsubishi

三菱電機パッケージエアコン

Mr. SLIM

取扱説明書

天 吊 形 PCA-J・BA1
PCA-J・CA1

天 井 埋 込 形 PEA-J・BA1

床置プレナム形 PFA-J・BA1

もくじ

	ページ
1. 安全のために必ず守ること	1~3
2. 各部のなまえ	4
3. 運転のしかた	5
ワイヤードリモコン (別売部品) 及びPFA操作部	5
ワイヤレスリモコン (別売部品)	6
運転/停止, 運転モード切換, 室温調節	7
風速調節, 風向調節	9
タイマー運転 (ワイヤードリモコン及びPFA操作部の場合)	11
タイマー運転 (ワイヤレスリモコンの場合)	13
自動運転・換気連動運転	15
4. お手入れのしかた	17
5. 長期間ご使用にならないとき	19
6. 別売部品	20
7. サービスをお申しつけの前に	21
8. 保証とアフターサービス	23
9. 移設・工事について	25
10. 仕様	25

●この取扱説明書の上手な使い方

[ミスタースリム知恵袋](#) [ミスタースリムDr.情報](#)

[ワイヤードリモコン情報](#) [ワイヤレス情報](#)

と4つの情報が運転のしかたの順で掲載されています。通常の操作は運転のしかたをご覧ください、より上手な使い方や、より詳しく知りたいときに、この4つの情報をご利用ください。



省エネで 守る環境 豊かな暮らし



このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。







- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
- お客さまご自身では、据付・移設をしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

1. 安全のために必ず守ること

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意 の表示で区分して説明しています。

■ “図記号” の意味は次のとおりです。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

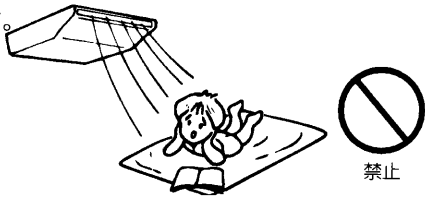
	絶対に行わないでください。
	絶対に触れないでください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。
	必ずアース工事を行ってください。
	必ず指示に従ってください。
	回転物に注意してください。 (室外ユニット本体に表示してあります。)

●ご使用時

警告

長時間直接お肌に風をあてない

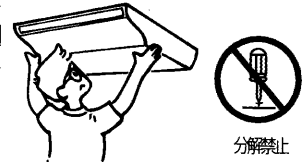
- 体調悪化や健康を損なう原因になります。



禁止

お客さま自身で分解・修理・改造はしない

- 不備があると、ユニットの落下によるケガ・感電・火災・水漏れの原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。

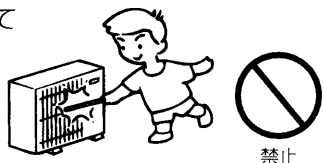


分解禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を！

- 内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



禁止

パネルやガードを外さない

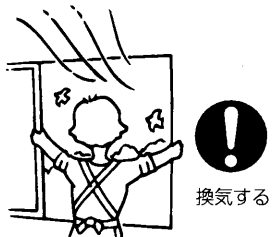
- 機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。



分解禁止

冷媒ガスが洩れている場合、運転を停止し換気する

- そのままにしておくと、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。



換気する

異常時（こげ臭いなど）は運転を停止して、電源スイッチを切る

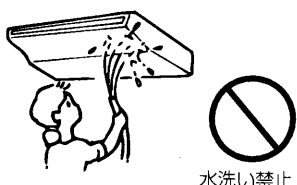
- 異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。



電源を切る

エアコン及びリモコンを水洗いしない

- ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になることがあります。



水洗い禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

- 感電の原因になることがあります。



禁止

●ご使用时

⚠ 注意

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

- 換気が不十分の場合は、酸欠事故の原因になることがあります。



換気する

直接風があたる所に動植物を置かない

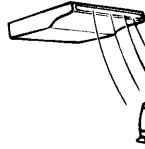
- 動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



禁止

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

- 不完全燃焼の原因になることがあります。
- エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。



禁止

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

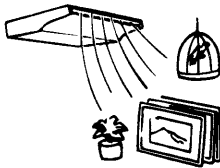
- 落下・転倒によるケガの原因になることがあります。



禁止

特殊用途に使用しない

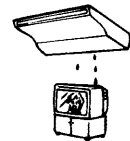
- 精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になることがあります。



禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

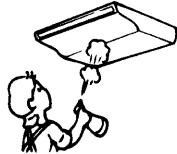
- 湿度の高いときや、ホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になることがあります。



設置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない

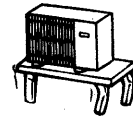
- 火災・変形の原因になることがあります。



禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

- ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になることがあります。



放置禁止

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

- 落下・転倒によるケガの原因になることがあります。



禁止

運転中に冷媒配管に触れない

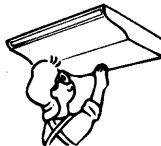
- 運転中の冷媒配管は、流れる冷媒の状態により、低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。



禁止

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

- 目にゴミが入り、ケガの原因になることがあります。



保護具着用

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

- 運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になることがあります。



電源を切る

リモコンを据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所には取付けない。



禁止

リモコンを先がとがった物で押さない

- 感電・故障の原因になることがあります。



使用禁止

ユニットの上に花瓶等水の入った容器を載せない

- 水がこぼれたときユニット内部に浸水し、感電や故障の原因になることがあります。



禁止

ユニット内部の金属エッジ素手で触れない

- ケガの原因になることがあります。



接触禁止

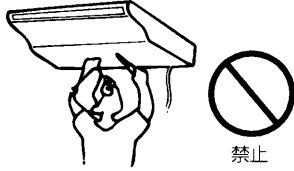
●据付け時

(このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

⚠ 警告

お客様ご自身で据付け・移動・再据付けしない

- 工事に不備があると、ユニットの落下によるケガ・感電・火災・水漏れの原因になることがあります。お買上げの販売店にご依頼ください。

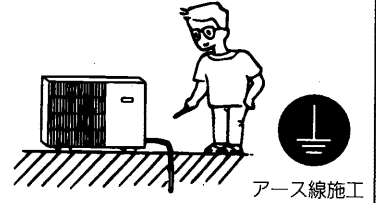


禁止

⚠ 注意

アース工事を行う

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。



アース線施工

小部屋に据付ける場合などは、換気対策を行う

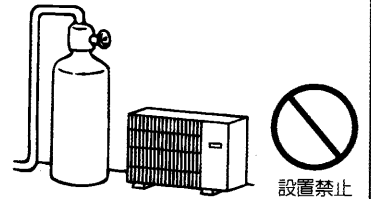
- 万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策が必要です。冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。



換気する

可燃性ガスの洩れる恐れのある場所へは据付けしない

- ガスが洩れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になることがあります。



設置禁止

使用される別売部品は当社指定品であること

(別売部品は20ページをご覧ください。)

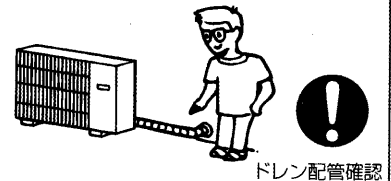
- ドレンアップメカなどの別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



指定部品使用

ドレン配管は確実にを行う

- 配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になることがあります。



ドレン配管確認

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

- ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



水平に据付け

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

- 異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用電源使用

設置場所(水気のある場所など)によっては、漏電遮断器を取付ける

- 取付けていないと、感電の原因になることがあります。



漏電遮断器設置

●冷媒(フロンガス)についてのご注意

- このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、空気より比重が重いので、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。
- 万一冷媒が洩れたときには、戸を開けるなどして充分換気を行ってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

●次のような場所での使用は避けてください。

- 油(機械油を含む)・湿気・粉塵の多いところ
- 海浜地区など塩分が多いところ
- 硫化ガス・揮発性ガス・腐食性ガスが充満しているところ
- 酸性の溶液を頻繁に使用するところ
- 特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 温泉地帯
- 高周波を発生する機械(高周波ウェルダ等)の近く
- 積雪により室外ユニットの通風口が塞がれるところ

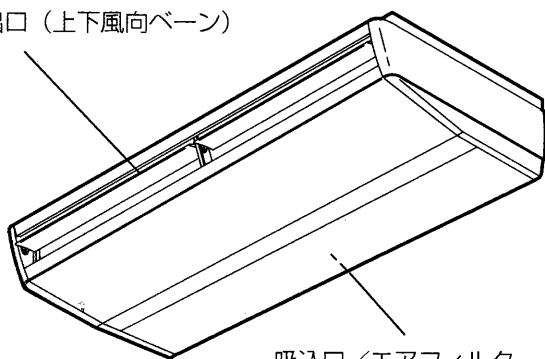
このような場所で使用すると、本体が腐食し冷媒が洩れたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

2. 各部のなまえ

室内ユニット

天井形[PCA]

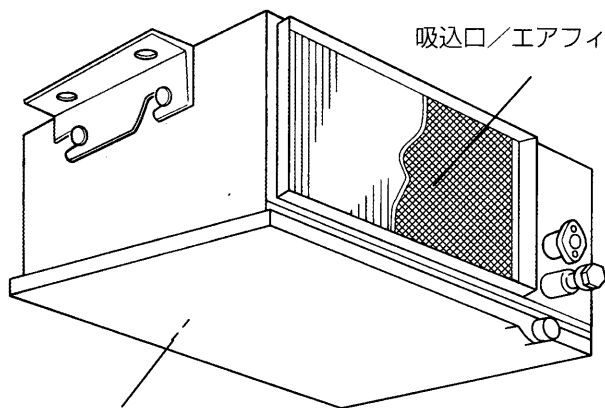
吹出口（上下風向ベーン）



吸込口／エアフィルター（後面）

天井埋込形[PEA]

吸込口／エアフィルター

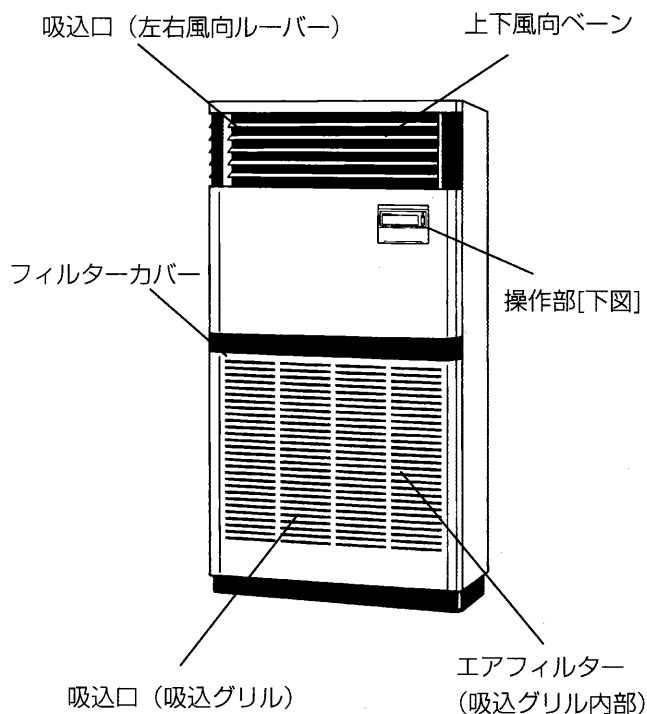


吹出口（前面）

床置形[PFA]

吸込口（左右風向ルーバー）

上下風向ベーン

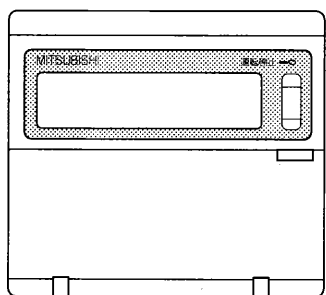


操作部[下図]

吸込口（吸込グリル）

エアフィルター
（吸込グリル内部）

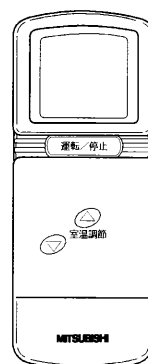
リモコン及びPFA操作部



表示部

操作部

ワイヤードリモコン
及びPFA操作部



表示部

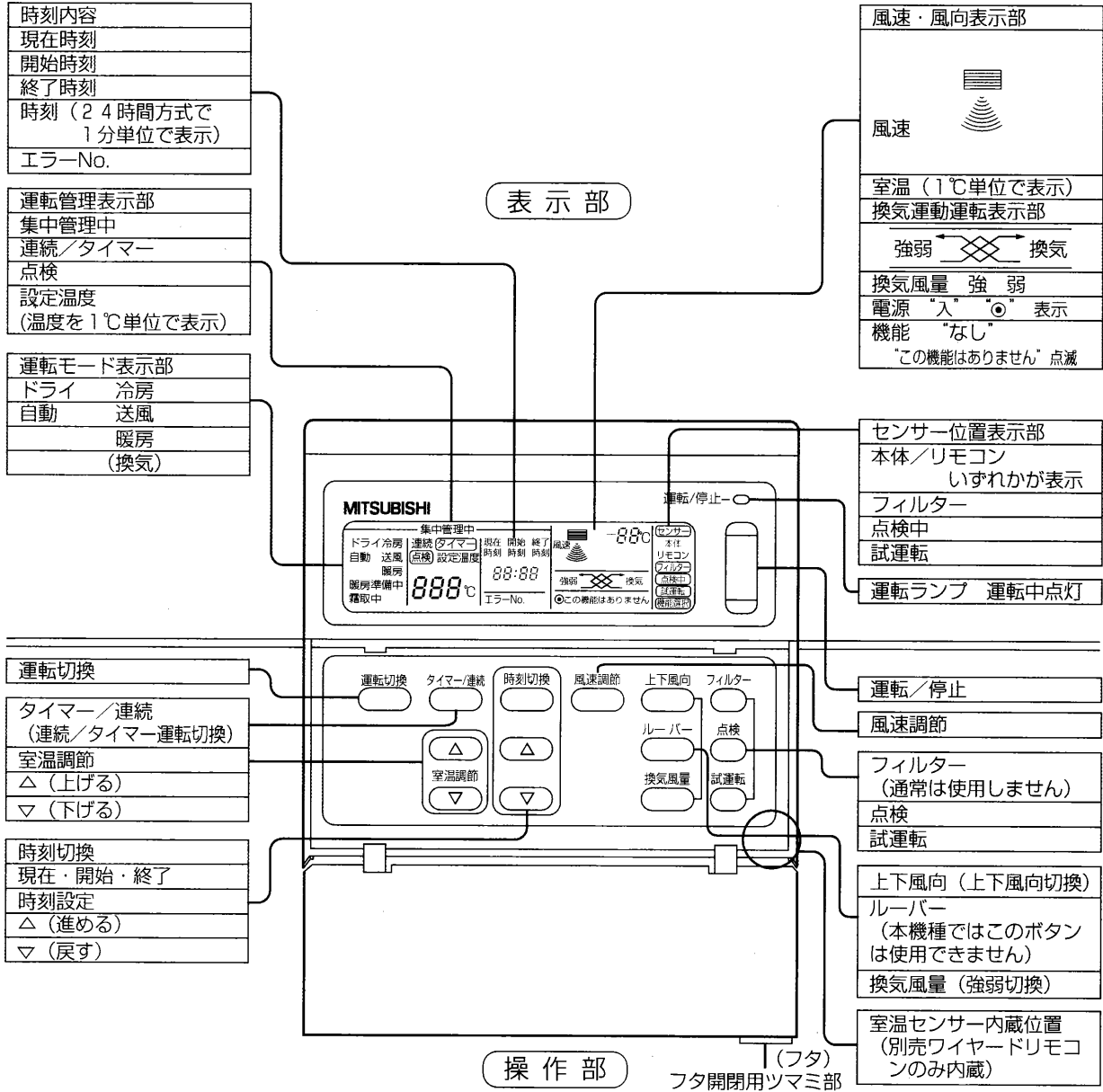
操作部

ワイヤレスリモコン

3. 運転のしかた

(1)ワイヤードリモコン（別売部品）及びPFA操作部

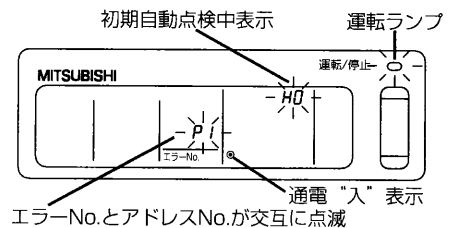
- 下図に示すイラストは、全ての表示を示していますが、説明のために通常とは異なります。
- 通常は、停止中は電源“入”表示（◎），運転中は運転ランプ電源“入”表示，設定温度，風速，風向，室温などが表示されます。



ワイヤードリモコン情報

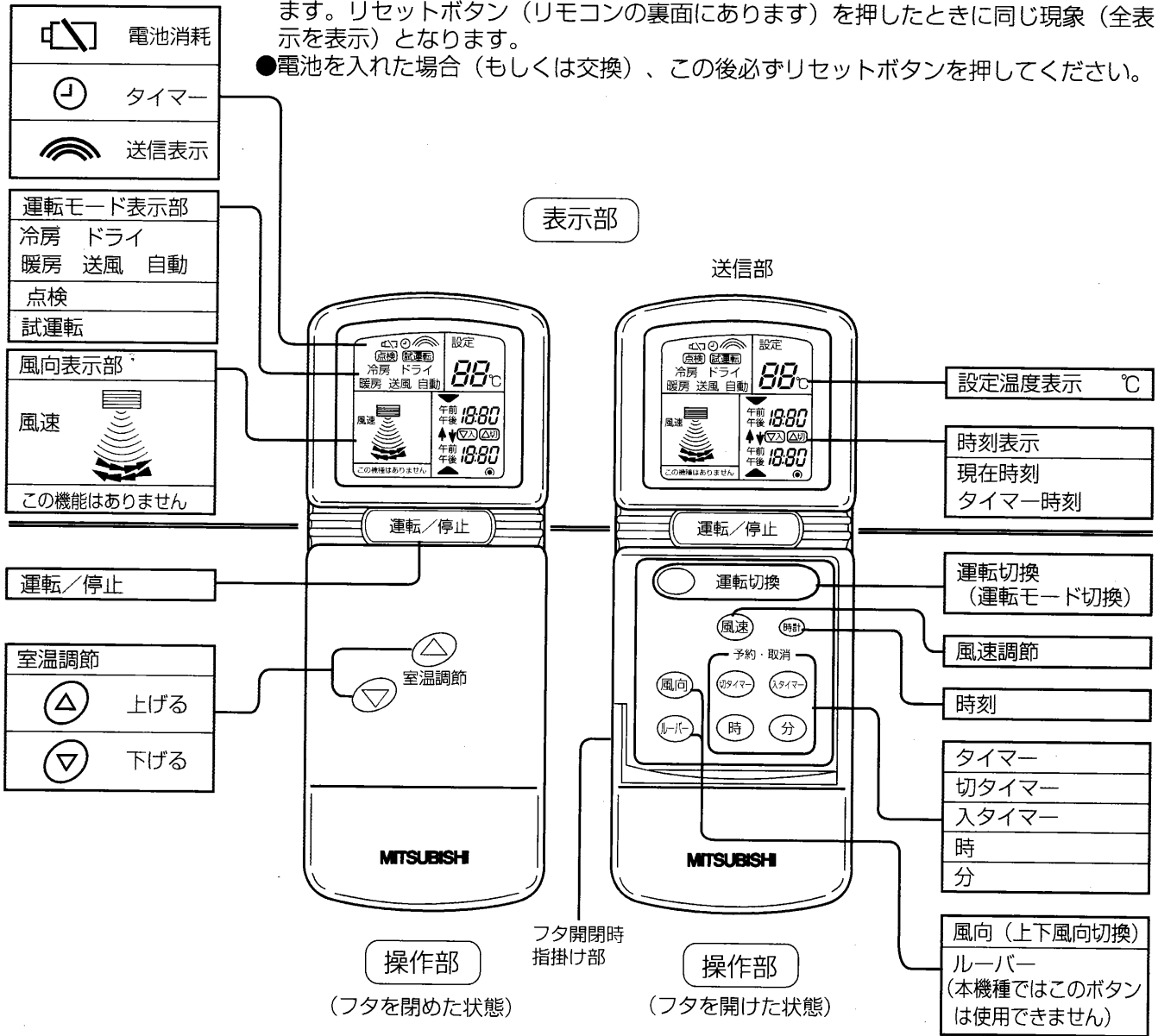
- 電源を入れたとき、リモコン表示部に通電“入”表示（◎）とH0点滅と運転ランプ点滅が表示されます。約2分間（H0点滅が消えるまで）お待ちください。停電が復帰したときにも動作（H0点滅）します。
- 運転ランプやエラーNo.が点滅しているときは点検が必要です。エラーNo.をメモして主電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- エラーNo.には次の種類があります。

No.	異常区分	エラーNo. (異常現象分類記号)
1	室内ユニット側の異常	P1~P8
2	室外ユニット側の異常	U0~U9, UA~UL, F1~F9
3	リモコン~室内ユニット間通信異常	E0~E9
4	室内ユニット~室外ユニット間通信異常	EA~EF
5	その他 (制御系統)	A0~A8



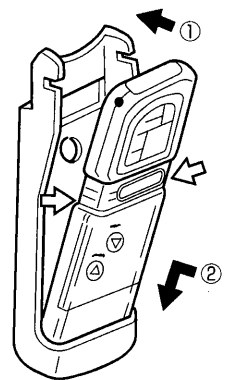
(2)ワイヤレスリモコン (別売部品)

- 下図に示すイラストは、全ての表示を示していますが、説明のため通常とは異なります。リセットボタン（リモコンの裏面にあります）を押したときと同じ現象（全表示を表示）となります。
- 電池を入れた場合（もしくは交換）、この後必ずリセットボタンを押してください。



ワイヤレスリモコン情報

- 電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピッピッ”と発信音がすることがあります。約2分間お待ちください。初期自動点検中です。
- リモコンの送信部から発信された信号が室内ユニットの受光部へとどき、室内ユニットのマイコンが作動すると“ピッ”と音を出してお知らせしますが、この信号のとどく範囲の目安は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、受光範囲は蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号がとどきにくくなることがあります。
- 室内ユニットの受光部付近に組み込まれた運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
- リモコンの取扱いは大切に！落としたり、衝撃を与えない。また、水に濡らしたり、湿度の高いところに置かないでください。
- 分解しないでください。紛失防止のためにリモコンフォルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。
- リモコンホルダーへのはめ込みは下側から挿入する。（右図①→②の順）
リモコンホルダーから取り外すときは、リモコンの中央部を持って引き出してください。
（右図 ⇨⇩間を持って手前に引く）



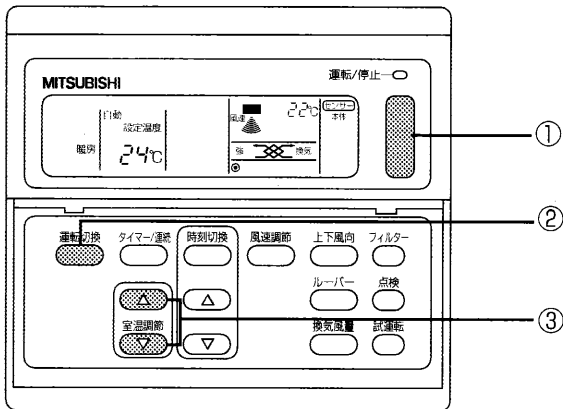
(3) 運転／停止，運転モード切換，室温調節

⚠ 警告
長時間直接お肌に風をあてない ●体調悪化や健康を損なう原因になります。
冷媒ガスが漏れている場合、運転を停止し換気する ●そのままにしておくこと酸欠事故の原因になります。
異常時（こげ臭い等）は運転を停止し電源スイッチを切る ●異常のまま運転を続けると、感電・火災や故障の原因になります。
濡れた手でスイッチを操作しない ●感電の原因になることがあります。

⚠ 注意
燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する ●換気が不十分の場合は、酸欠事故の原因になることがあります。
直接風があたる所に動植物を置かない ●動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。
直接風があたる所に燃焼器具を置かない ●不完全燃焼の原因になることがあります。
室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない ●湿度が高いときやドレン詰まり時、水が滴下することがあります。
操作部・リモコンを先かごとがった物で押さない ●感電・故障の原因になることがあります。

■ 運転／停止 ボタンを押す前に：

- 電源が入っていますか。
- エアコン使用期間中は電源を切らないでください。
- 1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上お待ちください。



1 運転・停止をするとき

- ① 運転／停止 ボタンを押す。

運転ランプ	点灯	消灯
リモコン表示	表示	ワイヤードリモコン→◎のみ表示 ワイヤレスリモコン→表示なし
設定	運転	停止

2 運転モードを切り換えるとき

- ② 運転切換 ボタンを押す。

- 運転切換 ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示とともに設定が切り換わります。

ワイヤードリモコン	表示	冷房 → ドライ → 送風 → 自動 → 暖房 → 換気
ワイヤードリモコン	運転モード	冷房 ドライ 送風 自動 暖房 換気 ※1
ワイヤレスリモコン	表示	冷房 → ドライ → 自動 → 送風 → 暖房
ワイヤレスリモコン	運転モード	冷房 ドライ 自動 送風 暖房

- ※1 換気装置が連動されていない場合は、表示されないし、設定もできません。
- 換気装置が連動されている場合、全ての運転モードで連動しています。
- ワイヤレスリモコンの場合は、換気装置単独運転モードとすることはできません。

3 設定温度を変えたいとき

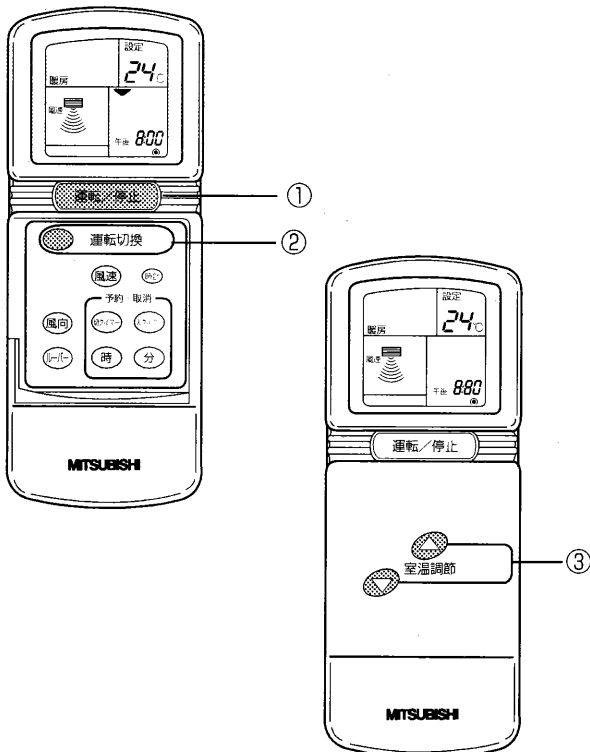
■室温を下げたいとき

- ③ 室温調節ボタンを押す。
- 1回押すごとに設定温度が1℃下がります。

■室温を上げたいとき

- ③ 室温調節ボタンを押す。
- 1回押すごとに設定温度が1℃上がります。
 - 温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	19～30℃
暖房運転	17～28℃
自動運転	19～28℃
送風・換気	—（設定できません）



■使用温度範囲

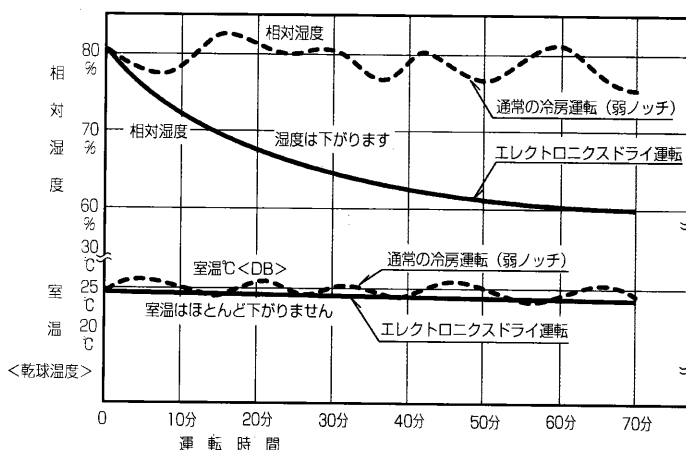
		室内	室外
冷房・ドライ	乾球温度	19℃～32℃	-5℃～43℃
	湿球温度	15℃～23℃	—
暖房	乾球温度	17℃～28℃	-11℃～21℃
	湿球温度	—	-12～15℃
送風・換気	乾球温度	—	—

■ドライ運転とは

- マイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転・エレクトロニクスドライ運転（ドライ運転）を行います。
- ドライ運転では冷やし過ぎを抑え効率的な除湿を行うため、送風は弱ノッチ、設定温度になって10分間停止が続くと湿度を低く保つため3分間の制御運転となります。
(PEA形は弱ノッチになりません。)
- 室温18℃以下では、エレクトロニクスドライ運転はできません。
- 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行われ、リモコンでは設定できません。

●除湿効果例：

[設定温度24℃、運転開始時温度24℃、相対湿度80%]



- (1) 冷房負荷が小さいとき、通常のエアコンでは冷房（弱ノッチ）、ON・OFF運転（5分ON/5分OFF）を繰り返し、除湿効果はほとんど得られない。
- (2) エレクトロニクスドライ運転では短時間で除湿効果を発揮します。

■暖房運転について

- 暖房開始時に風が出ない：冷風を出さないよう室内ファンは吹出し空気の温度上昇に合わせて、停止から設定風速へ切り替わります。（ホットスタートといいます。）
- 風速が設定どおりでない：室温が設定温度に達したとき、機種により一時的に微風または弱風となります。
- “霜取中”“暖房準備中”が表示されているときは霜取運転、霜取後冷風を出さないよう室内ファンを停止させています。停止している期間をそれぞれ“霜取中”“暖房準備中”と表示し、お知らせします。ワイヤレスリモコンでは受光部付近の表示灯の点灯でお知らせします。
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間電気ヒータ等の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

■送風運転とは

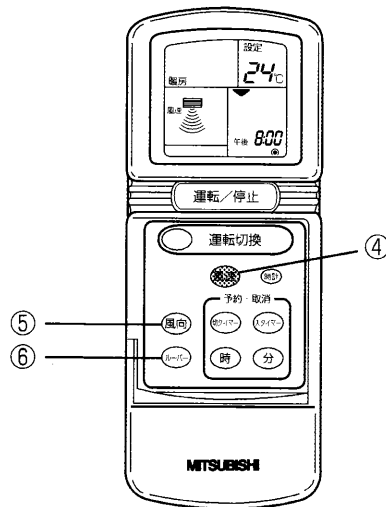
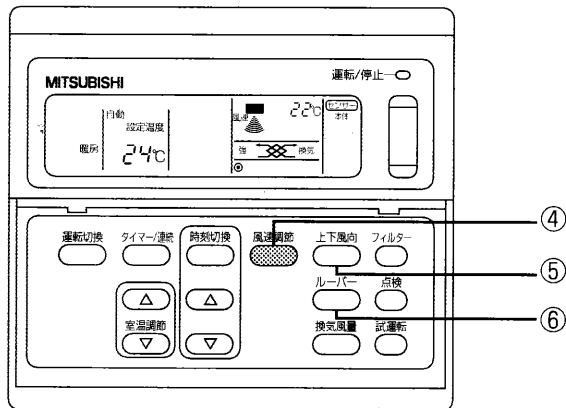
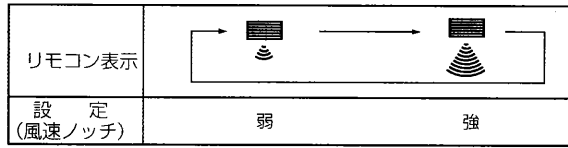
- 送風運転はお部屋の空気を循環させる働きをします。冷房・暖房あるいはドライ運転などでエアコンを使用しない時期に換気装置と連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

(4) 風速調節, 風向調節

4 風速を変えたいとき

④ **風速調節** ボタンを押す。

- **風速調節** ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示とともに設定が切り換わります。



ご注意

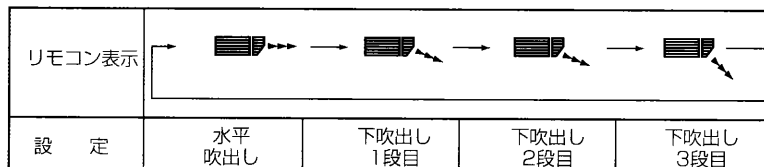
- PEA形は **風速調節** ボタンは使用できません。

(**風速調節** ボタンを押した場合 “この機能はありません” と表示され、PEA形室内ユニットに風速調整機能がないことをお知らせします。)

5 上下風向を変えたいとき [PCA-J・CA1形のみ]

⑤ **上下風向** ボタンを押す。

- **上下風向** ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示とともに設定が切替わります。



※1時間設定有効

※冷房・ドライ運転時、1時間経過すると自動的に水平吹き出しにもどります。

運転中に上下風向ベーンを手で絶対に動かさないでください。露たれ・ベーンの故障の原因になります。

ご注意

- 本機種では **ルーバー** ボタン⑥は使用できません。

(**ルーバー** ボタンを押した場合 “この機能はありません” と表示され、その室内ユニットに上下風向機能・左右風向ルーバー機能がないことをお知らせします。)

[PCA-J・BA1・PFA形の場合]

上下方向 [PCA-J・BA1・PFA形のみ]、左右方向 [PFA形のみ] を変えたいとき (手動操作となります)

- 転倒しないよう足場をしっかりとってください。
- 運転を停止し、風向きルーバーをお好みの向きに調節してください。

ご注意

- 本機種では **上下風向** **ルーバー** ボタンは使用できません。

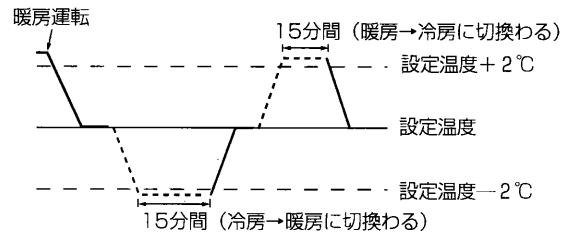
(**上下風向** **ルーバー** ボタンを押した場合 “この機能はありません” と表示され、その室内ユニットに上下風向機能・左右風向ルーバー機能がないことをお知らせします。)

ミスタースリムDr.情報

もうちょっと
詳しく知りたい

■自動運転とは

- 設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。
- 自動で運転している間に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切り替わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切り替わります。



■換気連動運転とは

- エアコンの運転を開始すると自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮外気とを混合させて、より効果的な換気を行うものです。
- エアコンを使用しない時期には換気装置単独でも運転ができます。(換気運転)
換気風量の強/弱切換もエアコンのリモコン(ワイヤードタイプのみ)で行うことができます。リモコンの(換気風量)ボタンを1回押すごとに“強” ← “弱”と表示、設定が切り替わります。
- (換気風量)ボタンを押したとき“この機能はありません”の表示が点滅する場合、及び運転モードで“換気”が表示されない場合は、換気装置が連動されていない場合です。

リモコン情報

- お好み運転で操作ボタンを押したとき“この機能はありません”と点滅表示が出る場合があります。
操作ボタンで押した機能が室内ユニットに装備されていないことを示しています。
- 1個のリモコンで2種類以上の室内ユニットを同時運転しているシステムの“この機能はありません”の表示は、室内ユニットのすべてに装備されていないときに限り表示されます。1台でも機能を装備した機種があれば表示されません。

ワイヤードリモコン情報

- 再運転時は下記運転モードとなります。

	再運転時モード
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度
風速	前回設定風速

ワイヤレスリモコン情報

- リモコンの電池を組み込み(リセットボタンを必ず押してください)の場合は初期設定、2回目以降は再運転時モードとなります。

	再運転時モード
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度
風速	前回設定風速

(5)タイマー運転（ワイヤードリモコン及びPFA操作部の場合）

■タイマー運転には次の3つの方法があります。

1. 運転・停止の両方をタイマーで行なう **入・切タイマー運転**
2. 運転の開始をタイマーで行ない、停止は **運転/停止** ボタンで行なう **入タイマー運転**
3. 運転の開始は **運転/停止** ボタンで行ない、停止をタイマーで行なう **切タイマー運転**

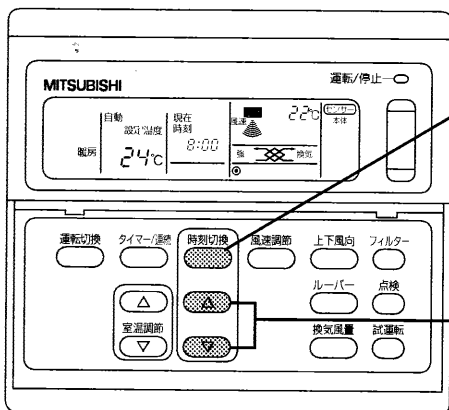
■タイマー運転の設定は、24時間以内に開始・終了ともに1回です。

●10分単位に時刻設定ができます。

■ **タイマー** の表示がされているとき（タイマー運転）は時刻設定・変更はできません。

その時は **タイマー/連続** ボタンを1回押してリモコンの表示を **連続** にしてください。

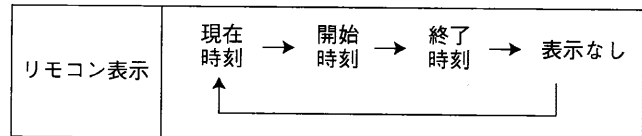
（タイマー運転の解除）



1 現在時刻の設定を行なう

① **時刻切換** ボタンを押し、“現在時刻”を表示。

- **時刻切換** ボタンを1回押すごとに、リモコンの表示が切り換わります。



② **▲** ボタンを1回押すごとに1分進み、
▼ ボタンを1回押すごとに1分戻ります。

- ボタンを押し続けると早送り（早戻し）となります。
- 時刻は1分単位→10分単位→時間単位の順に変化します。
- ボタン操作終了後約10秒でリモコンの表示は消えます。

2 開始時刻の設定を行なう

① **時刻切換** ボタンを押し、“開始時刻”を表示させる。

② **▲** または **▼** ボタンを押しして運転を開始したい時刻に合わせる。

3 終了時刻の設定を行なう

① **時刻切換** ボタンを押し、“終了時刻”を表示させる。

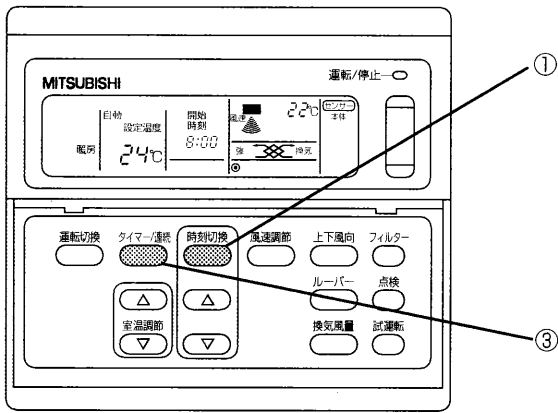
② **▲** または **▼** ボタンを押しして停止したい時刻に合わせる。

4 時刻の変更をしたいとき

① **時刻切換** ボタンを押しして変更したい時刻（現在・開始・終了）を表示させる。

② **▲** または **▼** ボタンを押しして希望する時刻に合わせる。

- 入タイマー運転・切タイマー運転のように一方だけの場合には他方の時刻を **--:--** とする。
この表示は23:50の次に表示されます。



5 入・切タイマー運転を行なうとき

① **時刻切替** ボタンを押して、“現在時刻”が正しいこと、運転開始時刻、運転終了時刻が希望の時刻と同じことを確かめる。

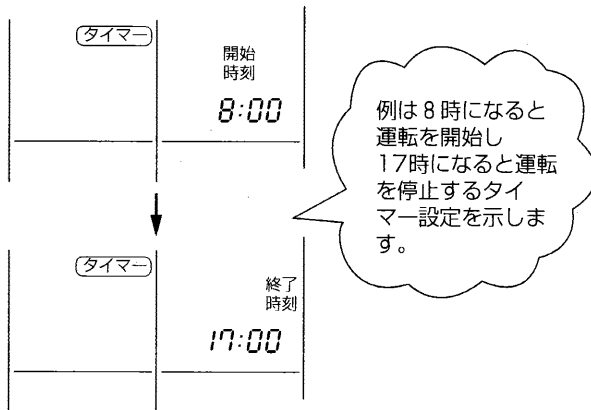
- 時刻の設定・変更は前ページをご覧ください。
- 約10秒で時刻の表示は消えます。

③ **タイマー/連続** ボタンを押して、リモコンに**タイマー**の表示をする。

- **タイマー/連続** ボタンを1回押すことにより、リモコンの表示とともに設定が切り替わります。

リモコン表示	連続	→	タイマー
設定	—	←	タイマー運転

タイマー設定表示例



6 入タイマー運転を行なうとき

① **時刻切替** ボタンを押して、“現在時刻”の正しいこと、運転開始時刻が希望の時刻と同じで、運転終了時刻が **---** の表示であることを確かめる。

- 時刻の設定・変更は前ページをご覧ください。

③ **タイマー/連続** ボタンを1回押し、リモコンに**タイマー**の表示をする。

7 切タイマー運転を行なうとき

① **時刻切替** ボタンを押して、“現在時刻”の正しいこと、運転終了時刻が希望の時刻と同じで、運転開始時刻が **---** の表示であることを確かめる。

- 時刻の設定・変更は前ページをご覧ください。

③ **タイマー/連続** ボタンを1回押し、リモコンに**タイマー**の表示をする。

ボタンを1回押し、リモコンにの表示をする。

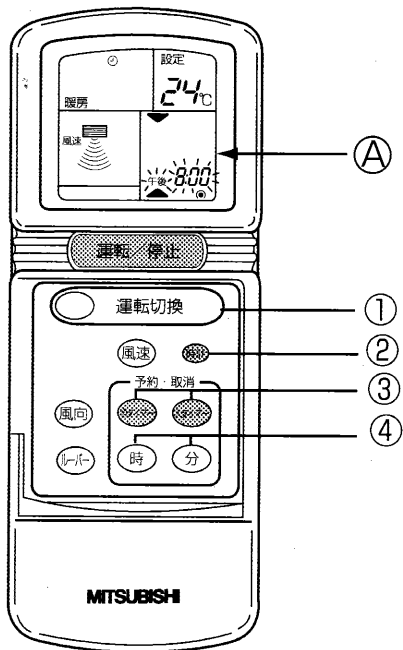
(6)タイマー運転 (ワイヤレスリモコンの場合)

■タイマー運転には次の3つの方法があります。

- ①運転・停止の両方をタイマーで行う **入・切タイマー運転**
- ②運転の開始のみをタイマーで行う **入タイマー運転**
- ③停止のみをタイマーで行う **切タイマー運転**

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入り・切り各1回以内です。

■リモコンへの時刻設定は、室内ユニットの受光部に向けて行う必要はありません。

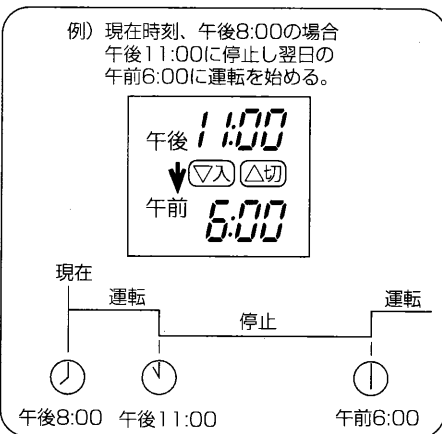
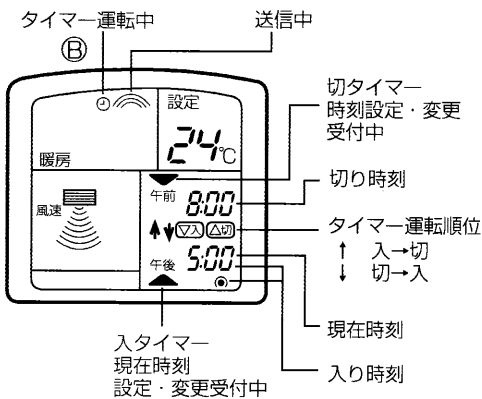
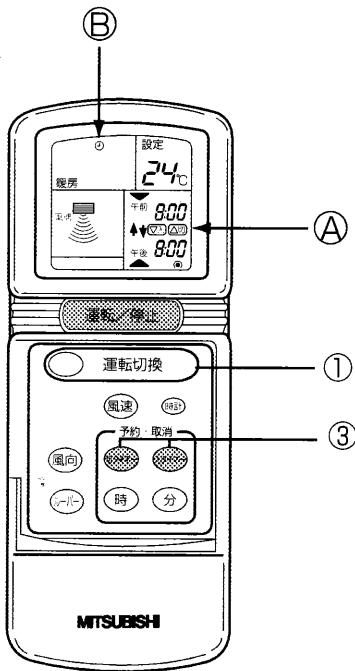


電池を入れて初めて現在時刻を設定するときは、手順3から操作してください。

1 時刻の設定・変更を行うとき

手順	現在時刻の設定・変更	入り時刻の設定・変更	切り時刻の設定・変更
1	① 運転/停止 ボタンを押す ●リモコンに表示の出ている状態とする。		
2	② 時計 ボタンを押す ●(A)部に▲が表示。	③ 入タイマー ボタンを押す ●(A)部に▲・▼入が表示。	③ 切タイマー ボタンを押す ●(A)部に▼・▲切が表示。
3	④ 時 ボタンを押して時刻*を合わせる ● 時 ボタンを1回押すごとに1時間進みます。 ● 分 ボタンを1回押すごとに1分進みます。	④ 時 ボタンを押して時刻*を合わせる ● 時 ボタンを1回押すごとに1時間進みます。 ● 分 ボタンを1回押すごとに10分進みます。	④ 時 ボタンを押して時刻*を合わせる ● 時 ボタンを1回押すごとに1時間進みます。 ● 分 ボタンを1回押すごとに10分進みます。
	*現在時刻に合わせる。	*入り希望時刻に合わせる。	*切り希望時刻に合わせる。
4	② 時計 ボタンを押す		
表示・設定	●(A)部の▲表示は約1分間点灯し、自動的に消え、設定完了となります。 ●設定途中で▲表示が消えた場合は、手順2へ戻ってください。	●(A)部の▲表示は約10秒間点灯し、自動的に消え、設定完了となります。 ●設定途中で▲表示が消えた場合は、手順2へ戻ってください。	

●入タイマー、切タイマーの時刻設定は、現在時刻が設定されていないとできません。
現在時刻を設定後に入タイマー・切タイマーの時刻設定をしてください。



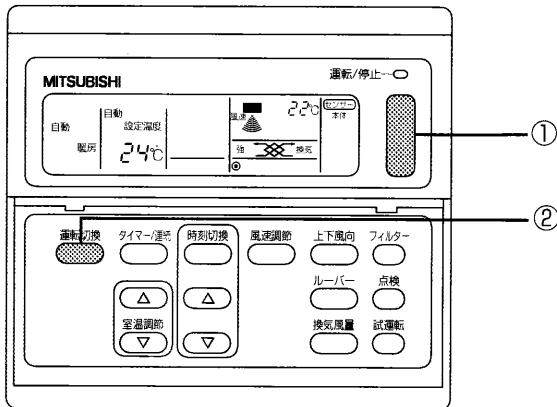
ご注意
 ◎タイマー予約時、ワイヤレスリモコンの **運転/停止** ボタンを押して停止すると、タイマーは解除されます。
 ◎タイマー運転が終了して空調機が運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転モードに戻り、連続運転となります。

2 タイマー運転の設定・取消を行いたいとき

●リモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押したとき、室内ユニットから“ピッ”と音のすることを確認しながら行ってください。

手順	入・切タイマー運転	入タイマー運転	切タイマー運転
1	① 運転/停止 ボタンを押す ●リモコンの(A)部に“現在時刻”の表示と◎印が点滅表示されます。時刻の正しいことを確かめてください。		
2	●運転モード、設定温度、風速が希望の内容であることを確かめてください。		
3	③ 切タイマー ボタンを押す	—	③ 切タイマー ボタンを押す
	●タイマー時刻の設定は前ページを参照ください。		
	●リモコンの(A)部に ▲・▼印 “切り時刻” が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンの(B)部に ◎が表示され、タイマー運転に入ったことを示します。	—	●リモコンの(A)部に ▼・▲印 “切り時刻” が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンの(B)部に ◎が表示され、タイマー運転に入ったことを示します。
4	③ 入タイマー ボタンを押す ●リモコン(A)部に ▲・▼印 “入り時刻” が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンの(A)部に 切り時刻 入り時刻 ↑ ↓ 印が表示されます。 ●リモコンの(A)部の表示で ↑ ↓ は ↑ または ↓ のいずれか一方が表示されます。 ↑ が表示の場合は 入→切 ↓ が表示の場合は 切→入 の順で動作することを示します。	③ 入タイマー ボタンを押す ●リモコン(A)部に ▲・▼印 “入り時刻” が表示されます。希望時刻に合っていることを確かめてください。 ●リモコンの(B)部に ◎が表示されタイマー運転に入ったことを示します。 ●エアコンの運転は自動的に停止され、“入り時刻” まで待ちます。	—
表示	●リモコンの(A) (B)部の表示をそのままにしておいてください。(他の人にタイマー運転中であることを知らせるためです)		
取消	●タイマー運転を取消す場合は、手順の3、4を行ってください。表示が消え、設定が取消されたことを示します。		

(7) 自動運転・換気連動運転

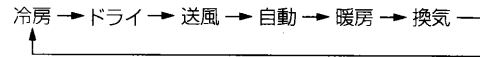


1 自動運転を行うとき

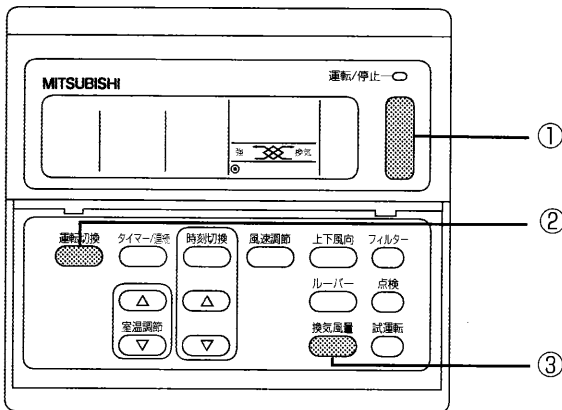
- 室温と設定温度との温度差に合わせて、自動的に冷房/暖房が切替わります。
(ミスタースリムDr.情報・10ページ参照)

- ① **運転/停止** ボタンを押し、運転状態にする。
- ② **運転切換** ボタンを押し、**自動** モードにする。

- **自動** の表示が出るまで **運転切換** ボタンを押し。



- **運転切換** ボタンを1回押すごとにリモコンの運転モードが切替わります。



2 換気単独運転を行うとき

- ワイヤードリモコンの場合に限り可能です。ワイヤレスリモコンでは連動運転はできませんが、単独運転はできません。
- 換気装置が連動接続されていない場合、**換気風量** ボタンを押したとき“この機能はありません”の表示が点滅します。
- 冷房運転・暖房運転などの必要がなく、換気装置のみ運転を行いたい場合に行います。

- ① **運転/停止** ボタンを押し、運転状態にする。
- ② **運転切換** ボタンを押し、**換気** モードにする。

3 換気風量を変えたいとき

- ③ **換気風量** ボタンを押し。

- **換気風量** ボタンを1回押すごとにリモコンの表示と連動する換気装置の風量が切替わります。

リモコンの表示	弱 → 換気 (換気弱の場合)	強 → 換気 (換気強の場合)
換気風量の設定	弱	強

- エアコンと連動運転する場合は、エアコンの運転モードをお好みのモードにして、**換気風量** ボタンを押すことにより強/弱のいずれかに設定することができます。

●PAC（パッケージエアコン）を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
- たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

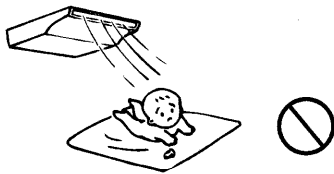
冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要とき以外は開けない開放のままにしないようにしましょう。



長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風向に注意しましょう。



フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。また、電力のムダ使いとなります。
- 標準装備のエアフィルターは週に一度以上清掃してください。
- PCA別売品のロングライフフィルターは、通常の使用環境では約2500時間清掃不要です。シーズンの始めと終わりに清掃してください。

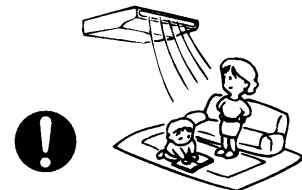


中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じる時は、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係がありますが、人間にとって快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- このムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎたりで中途半端と感じる場合があります。エレクトロニクスドライ（ドライ）運転をご利用ください。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。



ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転では、室温の設定はできませんが、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。



4. お手入れのしかた

⚠ 警告

- エアコン及びリモコンを水洗いしない
- 水が侵入して絶縁不良になり、感電の原因になります。

⚠ 注意

- フィルターを着脱のときは不安定な台に乗らない
- 落下・転倒によるケガの原因になることがあります。
- フィルターを着脱には保護具（メガネなど）を着用する
- 目にゴミが入り、ケガの原因になります。
- 清掃の時は運転を止め、電源スイッチを切る
- 運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

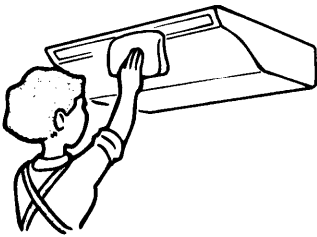
お手入れの前に

- 必ず、電源を「切」にしてください。
室内ユニット電源「切」にした後、室外ユニット電源を「切」にしてください。



室内ユニット、リモコンの清掃

- やわらかい布でから拭きをしてください。
- 上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押ししたりしないでください。故障の原因になります。

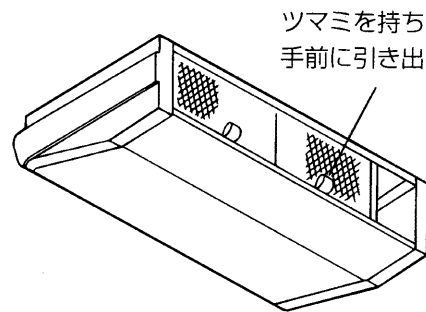


- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用してください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

フィルターの清掃

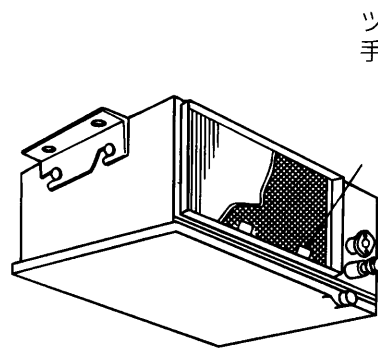
(1) フィルターを取外す。

PCA



ツマミを持ち、上にあげてから手前に引き出してください。

PEA

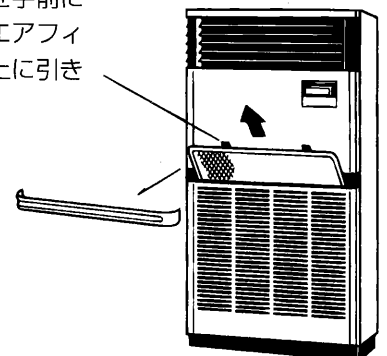


ツマミを持ち、上にあげてから手前に引き出してください。

（吸込ダクトを使用するときはこのエアフィルターを取り外し別に吸込グリル側にエアフィルターを設置してください。）

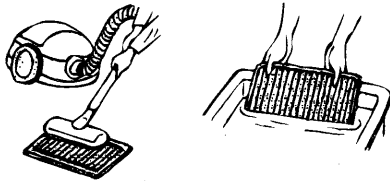
PFA

フィルターカバーを手前に引いて取り外し、エアフィルターは手前斜め上に引き抜いてください。



(2) フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
- 熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。



(3) 水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

- フィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさな
いでください。

**(4) フィルターを元の状態に取付ける。
(取外しの逆の手順)**

エアフィルターの清掃時期

- 標準装備のエアフィルターは一週間に一度（特にホコリの多い所ではそれ以上）清掃してください。
- PCA別売部品のロングライフフィルターの清掃時期の目安は約2500時間です。

※フィルターが詰まると冷暖房効果が低下し、そのまま運転を続けると故障の原因になります。

※フィルターは、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、フィルターの種類ごとに目安時間で表示しているものです。
環境の空気条件によって汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

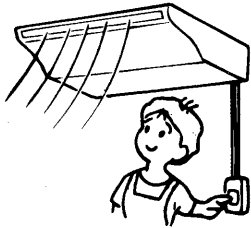
室外ユニットの熱交換器の洗浄

- 長時間エアコンを使用しますと、室外ユニット熱交換器にホコリなどがつき、冷暖房能力が低下します。
- 洗浄方法についてはお買上げの販売店にご相談ください。

5. 長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

- (1) 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。



- (2) エアコンの電源を切る。

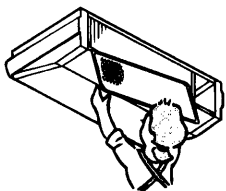


- (3) <ワイヤレスリモコン使用の場合>
リモコンから乾電池を取出す。

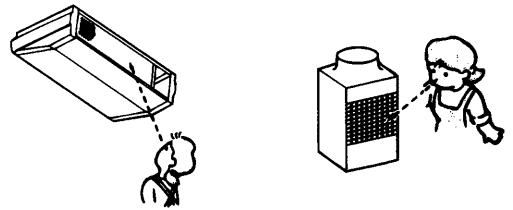
再度使い始めるとき

- 下記作業(1)～(4)の点検を行ない、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

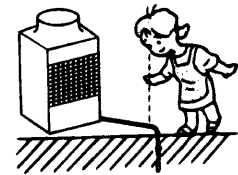
- (1) フィルターを清掃して、取付ける。



- (2) 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



- (3) アース線が外れていないことを確認する。
室内ユニットにも取付けてある場合があります。

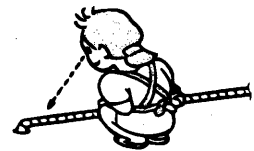


⚠ 注意

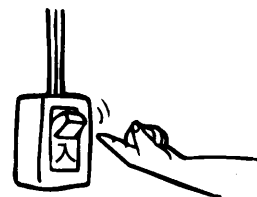
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない

- アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

- (4) ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



- (5) 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。



6. 別売部品

多様な使い方に対応いただけるように、専用の別売部品を用意しています。
詳細はお買上げの販売店にご相談ください。

室内ユニット用別売部品

- ドレンアップメカ(揚程500mm)：[PCAのみ] …… 冷房時発生したエアコン内の水を天井内にくみ上げて排水するポンプです。
- ロングライフフィルター：[PCAのみ] …… 一度の清掃で約2500時間使用できます。(空気条件により使用可能な時間は異なります。)
- 補助電気ヒータ：[PCA・PFAのみ] …… さらに暖房能力を高めることができます。寒冷地などで使用する場合にお勧めします。
- ペーパーパン加湿器：[PFAのみ] …… 暖房時には室内の湿度が下がります。健康のためにも、また家具などの乾燥のしすぎを避けるためにも、適度な加湿をお勧めします。

室外ユニット用別売部品

- 防雪フード …… 雪が吹出口などに入らないよう、雪国などで使用してください。
- 後配管キット …… 標準で手前・左・下の三方向に配管可能ですが、後方向に配管する場合はこのキットを使用してください。
- 集中排水キット …… 暖房時ユニットから排水される水をまとめて処理する際に使用してください。
- 圧力計 …… 冷媒ガスの圧力を表示します。
- 進相コンデンサ …… 力率改善にご利用ください。

制御用別売部品

- スケジュールタイマー …… 1週間の曜日毎、運転時間を2モード(終日停止を含むと3モード)から選定できます。
- 集中コントローラー/マルチパネルコントローラー …… 室内ユニット50台までを集中制御できます。
集中制御には、一括/グループ毎に運転・停止/運転モードの切換え/設定温度の変更などを行うことができます。

7. サービスをお申しつけの前に

サービスをお申しつけの前に、次の点をお調べください。

おかしいな Q 変だな？ 故障かな？	A お答えします	! 説明します
動かない！ ①リモコンの運転表示が点灯しない。	①電源開閉器を入れてください。 リモコンの表示部に、電源の“●”が点灯します。	①電源が入っていませんとリモコンの表示部に電源の表示“●”が点灯しません。
②リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	②“集中管理中”を解除してください。 表示が出ていませんか？ お確かめください。	②“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。
③再運転のために、運転・停止ボタンを押したが運転がすぐに始まらない。	③再運転をした場合は、約3分間お待ちください。	③マイコンの指示でエアコンを保護しています。
④リモコンの表示部にエラーコードが点灯している。	④リモコンの表示部にエラーコードが表示されていませんか？ お確かめください。	④“自己診断機能”が作動してエアコンを保護しています。 サービスを申し付けください。
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	①リモコンでタイマー運転にしていた。 運転・停止ボタンを押して停止してください。	①リモコンで入タイマー運転を設定すると、自動的に指定された時刻に運転を開始します。
	②遠方コントロールで運転を指示した。 運転を指示したところへ確認・連絡ください。	②遠方コントロールが接続されている場合、遠方で運転の指示をすると自動的に運転を開始します。
	③集中管理室で運転を操作した。 運転を指示したところへ確認・連絡ください。	③リモコンに“集中管理中”の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転を開始します。
	④停電していて電源が復帰した。 運転・停止ボタンを押して停止してください。	④運転中に停電になったとき、電源が復帰すると自動的に運転を開始する電源発停の機能に設定されていた。 * 電源発停の機能を作動させない場合は、販売店・工事店またはサービスにご連絡ください。
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	①リモコンでタイマー運転にしていた。 運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。	①リモコンで切タイマー運転を設定すると、自動的に指定された時刻に運転を停止します。
	②遠方コントロールで運転を指示した。 運転を指示したところへ確認・連絡ください。	②遠方コントロールが接続されている場合、遠方で運転の指示をすると自動的に運転を停止します。
	③集中管理室で運転を操作した。 停止を指示したところへ確認・連絡ください。	③リモコンに“集中管理中”の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転を停止します。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	そのままお使いください。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が出る場合があります。
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	そのままお使いください。	①冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき、滴下するためです。 ②暖房時には熱交換器についた水が滴下するためです。 * これらの水をまとめて別に排水する場合、別売部品“集中排水キット”をご利用ください。

おかしいな Q 変だな？ 故障かな？	A お答えします	! 説明します
よく冷えない。 よく暖まらない。	①温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ②フィルターの清掃をしてください。 ③室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。	①設定温度が適切でない。 ②フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下したため。 ③室外ユニットの吹出し口・吸込み口がふさがれている。
暖房運転ですぐに風が吹き出されてこない。	そのままお待ちください。	十分に暖かな風をお届けするために準備中です。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	そのまま約10分程お待ちください。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。
水の流れるような音がする。	異常ではありません。そのままお使いください。	エアコン内部の冷媒が流れる音です。
時々“プシュッ”と音がする。	異常ではありません。そのままお使いください。	エアコン内部の冷媒の流れが切替わる時の音です。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	異常ではありません。そのままお使いください。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	スケジュールタイマーで行なってください。	スケジュールタイマーが接続されていませんか？この場合はスケジュールタイマーでセットとなります。
リモコンに“H0”の表示が出る。	そのままお待ちください。	初期自動点検（約2分）を行なっているためです。
リモコンに故障記号が表示される。 * 故障記号：5ページ参照	エアコンの電源を切り、お買上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。 “E6”の場合は室内機の電源を切り、室外機→室内機の順で電源を入れてください。	自己診断機能を搭載しています。 * 自分では絶対に修理しないでください。
ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。	乾電池が消耗しています。 * 新しい乾電池でも表示のでない場合は、乾電池の入れ方（+、-）を再度確認ください。
ワイヤレスリモコンの受光部の運転表示灯が点滅する。	エアコンの電源を切り、お買上げ販売店に製品名を連絡してください。	自己診断機能を搭載しています。

8. 保証とアフターサービス

■保証書は室外ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安 **【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】**

下記は、以下のご使用条件の場合です。

- ①頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
 - ②製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。（氷蓄熱等夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
- また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- ①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
 - ②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
 - ③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
 - ④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
 - ⑤頻繁な発停のある場所、運転時間が長い場所。（24時間空調等）

表-1. 「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ (ファン、ルーパー、ドレンポンプなど)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）の為に役立ててください。また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は通商産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安 [保交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表-2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルタ	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルタ		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間	クランクケースヒータ		8年
平滑コンデンサ		10年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）の為に役立ててください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

- 当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■保証書について [保証期間は、お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

- 保証書はお買上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。[保証期間経過後の修理は有償になります。]
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」及び定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

9. 移設・工事について

移設について

- 増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
- 据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒(R-22)以外のものを混入させないでください。

据付け場所について

- 設置・移設をする場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
- 可燃性ガスの洩れる恐れがあるところは避けてください。
- 油(機械油を含む)・湿気・粉塵の多い所
 - ・海浜地区等塩分の多い所
 - ・硫化ガス・揮発性ガス・腐食性ガスが充満している所
 - ・酸性の溶液を頻繁に使用する所
 - ・温泉地帯
 - ・高周波を発生する機械(高周波ウェルダ等)の近く
 - ・積雪などにより室外ユニットの通風口が塞がる場所
- など、エアコンの周囲雰囲気特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。ご使用は避けてください。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- 室内ユニットは必ず水平に据え付けてください。水たれなどの原因になります。

電気工事について

- 電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
- 電源はエアコン専用の回路を設けてあるか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
- 万一の感電防止のため、アースを取付けてください。詳しくはお買上げの販売店にご確認ください。
- 据付場所によっては、漏電ブレーカの取付けが義務付けられています。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ブレーカ・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては、エアコンの重量に充分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- エアコンをご使用中、異常音がする場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

10. 仕様

50/60Hz

		天吊形		天井埋込形		床置形	
冷暖房形セット形名		PCH-J224BA1,CA1F9	PCH-J280BA1,CA1F9	PEH-J224BA1F9	PEH-J280BA1F9	PFH-J224BA1F9	PFH-J280BA1F9
冷房専用形セット形名		PC-J224BA1,CA1F9	PC-J280BA1,CA1F9	PE-J224CA1F9	PE-J280CA1F9	PF-J224CA1F9	PF-J280CA1F9
性能 (冷房専用形は 暖房しません)	冷房能力 kW	20.0/22.4	25.0/28.0	20.0/22.4	25.0/28.0	20.0/22.4	25.0/28.0
	暖房能力 kW	22.4/25.0	28.0/31.5	22.4/25.0	28.0/31.5	22.4/25.0	28.0/31.5
	暖房低温能力 kW	16.4/18.3	20.4/23.0	16.4/18.3	20.4/23.0	16.4/18.3	20.4/23.0
室内 ユニ ット	室内ユニット形名 <small>(冷暖房・冷房専用形共通)</small>	PCA-J224BA1,CA1	PCA-J280BA1,CA1	PEA-J224BA1	PEA-J280BA1	PFA-J224BA1	PFA-J280BA1
	電源	室外ユニットからの電源重畳(AC200V)		三相 200V 50/60Hz		室外ユニットからの電源重畳(AC200V)	
	騒音:強-弱 dB	55-50	55-52	49	53	54-48	56-49
	標準風量:強-弱 m ³ /min	58-49	70-60	60	80	60-48	80-64
	標準機外静圧 Pa	0	0	50(150に切換可)		0	0
	補助ヒーター(別売部品) kW	4.2	5.2	設定なし	設定なし	4.2	5.2
	外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	320×1800×800	320×2100×800	455×1580×604	455×1580×604	1850×985×400	1850×985×400
	質量(本体+パネル) kg	80	90	74	80	112	127
冷暖房形セット形名		PUH-J224FA9					
冷房専用形セット形名		PU-J224FA9					
室外 ユニ ット	電源	三相 200V 50/60Hz					
	騒音 dB	56	57	56	57	56	57
	風量 m ³ /min	185	185	185	185	185	185
	外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	1715×990×840	1715×990×840	1715×990×840	1715×990×840	1715×990×840	1715×990×840
	質量 kg	200<195>	240<235>	200<195>	240<235>	200<195>	240<235>

- ※PEA形には風量切換(強-弱)切換はありません。
- ※/で示される数値は左が50Hz、右が60Hzで、その他は50Hz、60Hz共用です。
- ※電気特性は製品に貼付してあります製品銘板に記入してあります。
- ※質量の()内の数値は冷房専用室外ユニットの質量を示しています。
- ※騒音値はA特性値です。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年です。



ご使用の際、このようなことはありませんか？

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくとう便利です。

お買上げ店名

電話

お買上げ(据付)日

年

月

日

 **三菱電機株式会社**